1997／12

同志社大学

学術情報センター報 No.14

目次

- 私立大学図書館協会京都地区研究会　主題別研究会A（書誌）を本学で開催 ► 1
- 第１回ヘルシンキ大学・同志社大学国際通信会議開催される ► 2
- 講武館書庫オープン／ブリティッシュ・カウンシル寄贈資料について ► 3
- 投書から生まれたこと ► 4
- 学術情報センター所蔵資料紹介 ► 6
- 学術情報センターのホームページを構築しました ► 7
- NEWS ＆ お知らせ ► 8

私立大学図書館協会　主題別研究会A(書誌)を同志社大学で開催

11月17日、私立大学図書館協会京都地区研究会の主題別研究会Ａ（書誌）を、本学明徳館1番教室（プレゼンテーション教室）において開催、京都地区、阪神地区の加盟大学図書館および本学図書館、研究室から65人の参加者が集った。

講演は本学文学部・天木志保美教授「現代の学生と本―社会学教育の経験から―」、同じく文学部・山田和人教授「芸能と古典文学―マルチメディアを用いて―大学教育の現場」の二題。天木教授は家族社会学の研究者として、社会学教育の立場から見た現代の学生像を、本との関わりを通して浮き彫りにされ、一般的な認識と一歩踏み込んだ深層との誤差を指摘、たいへん興味深い講演となった。また、山田教授は、授業を通して学生と共同で取り組まれている「からくり研究会」で作成された「竹田からくり傀儡師の動態」をコンピュータグラフィック等により表現。さらに「大津祭の曳山とからくり」については、ビデオでその動きを解説され、メディアを通じて情報、知識を共有化することにより広がるさまざまな可能性を求めて、今後もさらにこれらの共同作業に取り組んでいく、とのビジュアルな講演が行われた。参加者も、角度の異なるお二人の講演に熱心に聞き入り、大画面の迫力ある映像に見入っていた。

第1回　ヘルシンキ大学・同志社大学国際通信会議開催される

11月10日（月）、本学と北欧フィンランドとの間で国際通信会議が開催された。この会議開催については本学学術情報センターが技術サポートを行った。

場所は本学が明徳館1番教室、フィンランド側がヘルシンキ大学で行われ、環境問題をテーマにISDN（総合ディジタル通信網）を２回線使い、動画と音声を双方に送り届け会議が進められた。

会議の模様は、テレビ講義システムを利用して田辺校地（TC1－232教室）にも同時中継された。

今回の会議は、今春に本学で記念講演を行ったフィンランド首相のパーヴォ・リッポネン氏が両大学を橋渡しして実現したものである。

日本側からは、先日文化勲章を受けた宇澤弘文氏（中央大学教授）をはじめ、藤田慶喜氏（桜美林大学教授）、室田武氏（同志社大学教授）、郡嶌孝氏（同志社大学教授）ら４人、ヘルシンキ側からは、Prof.Pekka Kauppi氏、Dr.Timo Vesala氏、Dr.kaarlo Hämeri氏、Dr.Markku Wilenius氏ら４人が会議に参加し「フィンランドと日本の環境の課題と政策」をテーマに意見交換を行った。

会議ではまず、篠原総一氏（同志社大学教授）による開会挨拶で始まり、続いて岩山太次郎（同志社大学学長）、Pall Fogelberg（ヘルシンキ大学副学長）両氏による挨拶が行われた。

郡嶌孝、Dr.Timo Vesala両氏による司会で会議が進められ、基調講演では日本側から室田武氏、ヘルシンキ側からProf.Pekka Kauppi氏による報告が行われた。

続いて、会議出席者によるディスカッション、一般来聴者（約100人）を含めての質疑応答が行われた。

最後に篠原総一氏による閉会の辞で、約２時間余に渡る国際通信会議を終了した。

講武館書庫オープン

「旧分類」とよばれる資料についてご存知でしょうか。1964年３月までに受け入れて整理された資料で、貴重な資料、よい資料がたくさん有ります。残念ながらDOORSでは検索できません。分類の体系が異なるため、遡及入力の際に対象外としたためです。この旧分類図書は、図書館だけでなく各研究室・研究所も所蔵しています。比較的利用の頻度の低いものを１箇所に集中して保存しようという構想が生まれ、検討される中からこの旧分類を対象とすることになりました。約15万冊の内の５万４千冊がこの講武館に移管されました。

こうして講武館の地階に書庫が誕生しました。この講武館書庫は図書館の所管ですので情報サービス課（今出川サービス係）が窓口となります。利用方法は以下の通りです。

１．検索・出納

①目録を検索する（カード目録）

↓　マルチメディア・ライブラリー前

②「講武館書庫資料　利用申込書」記入

↓　メインカウンターで受付

③係員が出納

↓　午前10時（１回／日）

④館内閲覧の手続き

２．入庫

教職員および大学院生（図書館入庫証取得者）は入庫できます。メインカウンターへお申し込みください。入庫証や社員証・利用カードと引き換えに鍵をお渡しします。

講武館書庫内にもカード目録（書名・分類）があります。

３．館外貸出

利用申込の際にその旨を記入。または館内で閲覧後に手続きすることも可能です。

学生は図書館の規定にのっとり、貸出可能冊数内で館外貸出ができます（閉架）。

教職員はカウンターにお申し出ください。

４．返却の手続き

返却の際は必ずメインカウンターへお持ちください（返却ポストは使用しない）。

また「講武館資料」のしおりを挟んだままお返しください。

ご不明な点についてはレファレンスカウンター・メインカウンターでおたずね下さい。

（今出川サービス係）

ブリティッシュカウンシル寄贈資料について

このたび、ブリティッシュカウンシルより図書・ビデオ等、資料の寄贈を受けましたのでご紹介いたします。

ブリティッシュカウンシルは、海外に英国の文化を紹介するために設立され、芸術・教育・英語・英文学・社会科学・自然科学の分野で英国との専門的な交流を望む個人および団体に多様な援助を行う文化交流団体です。具体的な活動として、英国情報提供（図書館）、英国留学の相談、各種イベントの開催（美術展、コンサート、講演会、映画会etc）などを行っています。

寄贈された資料はいずれも英国の政治・社会・文化諸事情を紹介したもので、図書151タイトル、ビデオ43タイトル、カセットテープ９タイトルの計203タイトルとなっています。資料は整理次第、ラーネッド記念図書館に配架いたしますので積極的にご利用ください。

投書箱から生まれたこと

図書館では利用者の声を聞く場として、投書箱を設置しています。定期的に目を通して所管の係が対処し、回答を掲示しています。すぐに対応できる場合もあれば、長期的な展望に立って予算措置を講じなければならない大きな問題もあります。また、大学全体で取り組むべき事もあります。

今回は、投書をきっかけに検討し、あるいは投書から力を得て推進し、実現させた最近の事柄をご紹介します。

（今出川図書館の投書から）

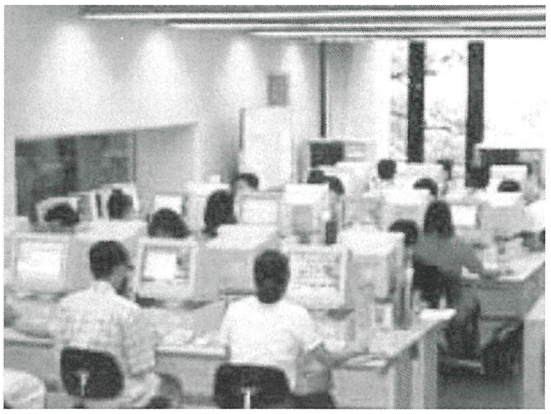
1．パソコン・コーナー

「ワープロができるコーナーが欲しい。」

「DOORSにプリンターを設置して欲しい。」

こういった投書から大々的なレイアウト変更を敢行しました。パソコンコーナーをメインフロアに設け、図書形態の資料ばかりでなく、インターネットを利用して情報検索もできるようにしました。レポートの作成も、DOORSの検索結果のプリントもできます。現在24台設置していますが、順番待ちが生じるくらいの盛況です。

1．パソコン・コーナー



2．喫煙・禁煙ラウンジ

2．喫煙・禁煙ラウンジ

「地階のラウンジの話し声が響いてうるさい」

「分煙してほしい。２階ラウンジで休憩していると煙草の煙が苦痛」　「各階に喫煙コーナーを」

分煙・禁煙が社会的な流れとなってきている現在、防災上の必要からも２階のラウンジを禁煙とし、地階のラウンジにパーティション工事を施工しました。これにより、分煙も騒音問題も解決しました。

3．第５閲覧室

「気兼ねなく電卓を使える場所を」

「電卓の音がうるさい」

電卓や資格試験のための持ち込みテープの利用できる場所として以前の「パソコン室」を「第５閲覧室」として整備しました（２階）。コンセント付きのOA卓がありますので大変便利です。第５閲覧室以外では電卓等のご使用はご遠慮下さい。

3．第5閲覧室

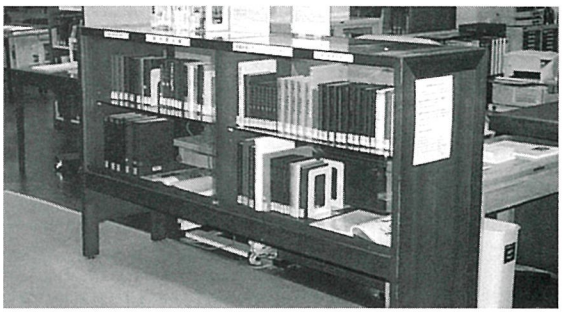
4．新着図書の展示

「新着図書の展示をして欲しい」

開架閲覧室入り口付近に書架を設置して新着図書コーナーとしました。リストも提供しています（週次）。

閉架図書は参考図書室入り口付近の展示ケースに、参考図書は図書のカバーをその上に並べていますので、ご参照下さい。

4. 新着図書展示



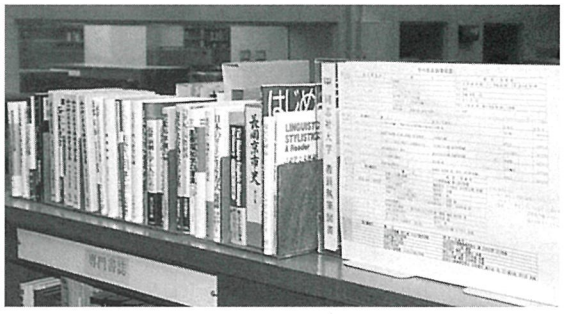
5. 新聞書架

6．本学教員の執筆図書紹介

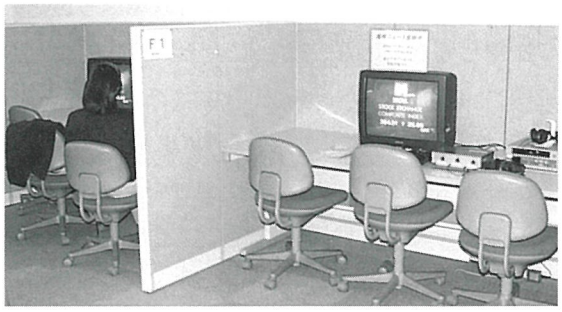
「本学教員の新刊図書目録作成を」

本学教員の執筆図書については、リストとともに図書のカバーをメインカウンター前の低書架の上に並べています。請求記号等をDOORSで確認してご利用ください。

6. 教員執筆図書



7. 海外ニュース



5．全国紙５紙と京都新聞の複数購入

「主要新聞は複数購入してほしい」

１部しか購入していなかった朝日・毎日・読売・産経・日経各紙と京都新聞は、当日以前の日付の新聞はカウンターで請求の上でないと見ることが出来ませんでした。そこで２部購入の予算をとって、１部を参考図書室の書架にストックしています。また、当日分も２部あるので閲覧する際に余裕が出ました。

7．CNN・BBCニュース（衛星放送）の提供

「ニュースの録画ビデオを見たい」

著作権法により、録画したものを図書館で提供することはできません。替わりに、CNNとBBCニュースを衛星受信して提供できるよう施設環境を整えました。マルチメディア・ライブラリーでビデオ設備のあるブースで利用できます。気軽にご利用ください。

その他に、冷暖房に対する不満（→全館工事となり、億近い経費が見込まれるため検討中）や、トイレがきたない（→1998年度予算申請中）、携帯電話に対する苦情（→大きく「禁止」のむね掲示）、学部資料の貸出（→実施の方向で全学的に準備中）などもあります。

また、職員の対応に対するご意見も数件あり、業務の見直しと反省を促し、できるかぎり気持ちよく利用していただけるよう努力しています。

投書箱は「ご意見・提案」として、玄関を入った正面に設置しています。用紙も備え付けてありますので、どうぞご利用ください。とくに建設的なご意見を歓迎いたします。

学術情報センター所蔵資料の紹介

国宝 半井家本「医心方」　複製

（請求記号：490.9　T732－1H）

「医心方」は平安時代、鍼博士の丹波康頼によって編纂され、984年（永観２）朝廷に献上されたと伝えられ、現存するわが国最古の医学書である。

古来、学問・知識は僧侶や貴族によって保護され発展してきたが、医学の場合も例外ではなく、丹波氏、和気氏といった家系が朝廷の典薬頭、侍医等を独占し、医学を家業として世襲した。康頼が撰した「医心方」は丹波氏にとっては秘本であり、写本の数もきわめて少なく一般の目にふれることはなかった。

内容は隋・唐時代までの医書多数を参考として、生理、病理、診断、薬治、鍼灸、本草、養生等、医療全般にわたり臨床各科を詳述した医学全書となっている。また、仙書、仏典、哲学、文学の文献も引用しており、現在では失われた中国の文献や当時のわが国の情勢等、医学のみならず文献学、国語学の資料としても貴重である。

「医心方」の古写本はわずかで、「仁和寺本」、「延慶本」、「半井家本」等22点が「国書総目録」に記載されている。なかでも「半井家本」は、唯一全30巻を完存し、室町時代に天皇家より半井光成に下賜されたと伝えられている。

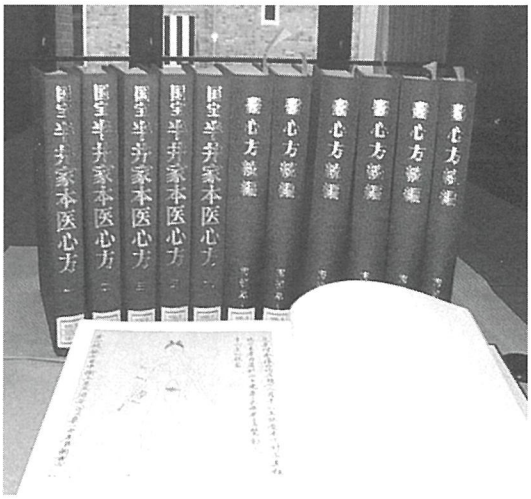
医心方 続編「樗雑集」　複製

（請求記号：490.9　C296－1H）

本書も丹波家に秘蔵されていた医学書で、全20巻からなり、内容は医学の全科にわたっている。第20冊の巻末に、康頼の子孫の尚康、知康の奥書あり、南北朝時代に成立したものと推定されている。

特色としては、「医心方」と同じく、宋・元時代の中国の医書からの引用が多数あり、歴史的に貴重な文献であり、「医心方」の続編といえる。樗雑とは、秀れた祖先の「医心方」に比べれば、つまらないものであると謙遜したもの

樗：ごんずいのこと、材木としては役にたたない



映像の世紀　全22巻　ビデオ

（請求記号：V2　186 ）

1995年に、NHK放送70周年記念番組として放送された「NHKスペシャル・映像の世紀」を再編集し解説書を付けたシリーズ。

人類がその歴史を動く映像として記録、視聴する事が可能となった最初の世紀である20世紀の様々な事象を、世界各国の映像資料館から取り寄せた貴重な映像で再現している。全体を通して、「映像は今世紀をいかに記録してきたのか、そして、それは歴史とどのように関わっていたのか。」という視点で、今世紀の歴史を11のサブテーマにわけ、時代順に編成されている。サブテーマ毎の内容は以下のようになっており、文字情報では得られない往時の雰囲気などを知ることができる。

①20世紀の幕開け　②大量殺戮の完成　③それはマンハッタンから始まった　④ヒトラーの野望　⑤世界は地獄を見た　⑥独立の旗の下に　⑦勝者の世界分割　⑧恐怖の中の平和　⑨ベトナムの衝撃　⑩民族の悲劇、果てしなく　⑪JAPAN

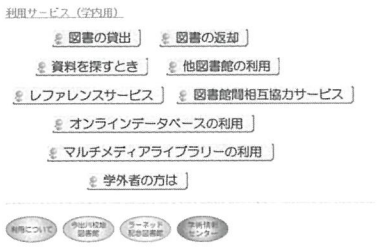
学術情報センターのホームページを構築しました

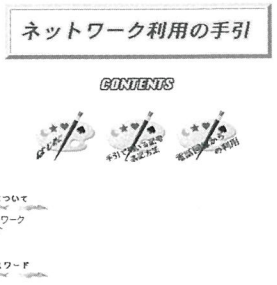
本学ホームページに学術情報センターのホームページを構築しました。内容は図書館関係、情報環境関係となっています。

図書館部分についてはまったく新たに構築しています。クリカブルマップを利用した施設の概要や開館日時などを校地別に紹介しています。また、利用できるサービスについてまとめたページもありますので、一度目を通してみてください。図書館にはこんな利用方法もあったんだ！と新たな発見をしていただければ幸いです。また、貴重室所蔵資料のうち、立原翠軒の自筆写本「呂宋覚書」および「環海異聞」巻10（写本）は、全文を画像で見ることができます。（今出川校地図書館→特別コレクション→全文データ検索）

情報環境関係については既存の内容に追加したものとなっており、情報処理実習教室やメディア工房、ネットワークの利用などについて紹介しています。「ネットワーク利用の手引」をホームページ上でみることも可能です。まだ構築中の部分もありますが、順次公開していく予定です。

このホームページが学術情報センター利用の一助となることを期待しています。





NEWS & お知らせ

学術情報センター利用時間(1～3月)

（臨時の変更は掲示にてお知らせします。）

● 今出川校地

		図書館		計算機室
		1・2階	地階、パソコンコーナー、マルチメディア・ライブラリー	計算機施設及び窓口
1/7～1/20	月～土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－22：00
1/21～2/2	月～金	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－17：00
	土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－12：00
2/3～2/7	火～金	9：00－19：00	9：00－18：30	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－15：30	9：00－12：00
2/9～2/14	月～金	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－17：00
	土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－12：00
2/16～3/7	月～金	9：00－19：00	9：00－18：30	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－15：30	9：00－12：00
3/9～3/14	月～金	閉室（蔵書点検）	9：00－17：00（地階のみ開室）	9：00－17：00
	土	閉室（蔵書点検）	9：00－12：00（地階のみ開室）	9：00－12：00
3/16～3/26	月～金	9：00－19：00	9：00－18：30	9：00－17：00
3/27～3/31	月～金	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－17：00
	土	9：00－22：00	9：00－21：30	9：00－12：00

※今出川図書館の閉架書庫の資料請求は閉館1時間前に締め切ります。
※火曜日及び月末の大型計算機利用は17：00までです。

● 田辺校地

		ラーネッド記念図書館			計算機室	
		2・3階	1階読書室	マルチメディア・ライブラリー(1階)	計算機施設	窓口
1/7～1/20	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－18：15	9：00－18：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00
1/21～2/2	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00
2/3～2/7	火～金	9：00－17：00	閉室	9：00－16：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－12：00	閉室	9：00－11：30	9：00－12：00	9：00－12：00
2/9～2/14	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00
2/16～2/28	月～金	9：00－17：00	閉室	9：00－16：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－12：00	閉室	9：00－11：30	9：00－12：00	9：00－12：00
3/2～3/7	月～金	閉室（蔵書点検）	9：00－17：00	閉室（蔵書点検）	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	閉室（蔵書点検）	9：00－12：00	閉室（蔵書点検）	9：00－12：00	9：00－12：00
3/9～3/26	月～金	9：00－17：00	閉室	9：00－16：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－12：00	閉室	9：00－11：30	9：00－12：00	9：00－12：00
3/27～3/31	月～金	9：00－20：00	9：00－20：00	9：00－19：30	9：00－17：00	9：00－17：00
	土	9：00－16：00	9：00－17：00	9：00－15：30	9：00－12：00	9：00－12：00

※ラーネッド記念図書館の書庫は閉館30分前に閉室します。
※火曜日及び月末の大型計算機利用は17：00までです。

同志社大学学術情報センター報 No.14　　1997年12月24日発行

編集・発行　同志社大学学術情報センター
〒602-8580　京都市上京区今出川通烏丸東入　☎075-251-3960